

## ISKジャッジブック

バージョン2.01 2005年10月1日施行

訳者注) 本書類は現在世界中で合意されている2002年7月1日施行のインターナショナルスポーツカイトジャッジブック バージョン2.1が2005年10月1日(AJSKAは2006年4月1日)よりバージョン2.01へ変更になることに伴い、修正が必要となった箇所にオリジナルからの翻訳を行った補足資料です。オリジナルに出来る限り近い翻訳を心掛けていますが、オリジナルのルールブックが主であり、日本語版はあくまでもAJSKA会員の為の補足資料ですので、表現に疑問が生じた際はオリジナルから判断されるようお願いいたします。

## 変更履歴

バージョン1.0 2001年6月1日

バージョン2.0 2005年8月1日

変更点:

序文:IRBCのWEBサイト

セクションIV.B.1. コンバルソリー

セクションVI.A.2. 偶発的な接触(ティックス)とクラッシュ

セクションVI.B.4. 偶発的な接触(ティックス)とクラッシュ

添付A スコアシートのサンプル

添付B フィールドディレクター用参照リスト

バージョン2.01 2005年10月1日

1. ページ2 - 日付とバージョンの変更
2. ページ5 - 注意点と施行日の追加
3. インターナショナルスポーツカイトコンペティションルールブック から インターナショナルスポーツカイトルールブック へ変更
4. II.B.1.a ジャッジ - 注釈を追加
5. II.B.1.a)(4)(a) 一般事項 - 「競技者が演技を開始した後に、ラウンチ…」を削除
6. II.B.1.a)(4)(c) 時間計測 - 最後の行「45秒ルールに基づいて…」を削除
7. II.B.1.a)(7) 得点係 - 2行目「認可機関が承認した採点プログラムまたは方式がある場合はそれを用いること。」追加
8. II.B.2.b)(2) 競技種目講評会 - 「ヘッドジャッジは講評会の報告書に関連した適切なフィードバックをチーフジャッジに進言する。」を追加
9. II.D.2. 凡例 - c) Flying or Moving over boundaries 境界線上または逸脱した飛行「これから競技を行う、競技中、競技終了直後で境界線の外側を飛行したことが認められ

た場合は失格となる。このルールはヘッドジャッジに定められた最初のインのコールからその演技のアウトのコールをするまでの間適応される。もし競技中に競技者の身体の一部でも境界線から出た場合も失格となる。」を追加

10. III. 採点の基本 - 「コンピューターで作成されたような数字で小数点数桁まで記入する」を追加
11. III. A. 2. b) 個々の得点の集計 - 行を追加
12. III. A. 2. d) 種目の総合得点 - 全文修正
13. III. B. 1 複雑性 - 全文修正
14. III. B. 8 タイミング - 一部修正
15. IV. B. 1 コンパルソリー - 文章追加
16. 添付A - 境界線超えのペナルティーを追加
17. 添付B - 参照リストの修正

## I. 序文

最新版はIRBCの公式サイト <http://worldsportskite.com/irbc.html> またはAJSKAの穂^無ページで手に入れることができます。

注記:

本ルールブックは認可機関によって認められたルールであり、他に明記がない限り競技シーズンの開始から採用される。

ルールブックの公式採用日は下記の通りとする。

2006年4月1日 AJSKA

2005年8月1日 AKA

2005年10月1日 STACK

## II. B. 1. A. (3) ジャッジ

注記:ここで言う「国際競技会」とは複数の認可機関が参加する競技会のことを示す。例:AJSKAとAKAとSTACK

## II. B. 1. a). (4). (a) 一般事項

「競技者が演技を開始した…」を削除

## II. B. 1. a) . (4) . (c) 時間計測

「45 秒ルールに基づいて…」を削除

## II. B. 1. A) . (7) 得点係

「もしあるなら、認可機関が承認した採点プログラムまたは方式」を追加

## II. B. 2. b) . (2) 競技講評会

「ヘッドジャッジは講評会の報告書に関連した適切なフィードバックをチーフジャッジに進言する。」  
を 2 行目に追加

## II. D. 2. c) 凡例

「演技の前後を含めて境界線の外側を飛行したことが認められた場合は失格となる。このルールはヘッドジャッジに定められたその競技の開始から終了までの間適応される。もし演技中に競技者の身体の一部でも境界線から出た場合も失格となる。」を追加

注釈: c) 義務付けられた説明会を欠席した場合 と d) 演技開始後にフィ - 7 ルド内に用具を持ち込んだ場合 の2つは削除されました。

## III. 採点の基本

「コンピューターで作成されたような数字で小数点数桁まで記入する」を追加

## III. A. 2. b) 個々の得点の集計

各競技者について、各ジャッジからのコンポーネントの得点を集め、集計し、[IV. プレシジョンの得点]並びに[V. バレーの採点]に基づいて競技者の演技に順位を決める。すべてのジャッジの採点は最終得点の確定に用いられる。ただし、シャドージャッジ(トレーニング期間中のジャッジ)は含まれない。認可機関がある特定の採点プログラムまたは方式を公式に認可した場合、そのプログラムまたは方式を認可機関の管轄下のすべての大会で用いて得点の集計を行わなければならない。すべてのデータと計算はダブルチェックすること。

## III. A. 2. c) 最終得点からの減点

表の 2 項目目、45 秒ルールの行を削除

### III. A. 2. d) 種目の総合得点

「すべての種目が最終スコアとして集計される際、それぞれの種目を加え、その種目数で割る。」に修正。

注記:これにより、100%採点方式が削除された。

### III. B. 1 複雑性

一般的に、エラーやアドリブの余地が少ないルーティーンの振り付け - 明確に振り付けされた要素よりも時間が短い - そのルーティーンの複雑性は高いと判断できる。

### III. B. 8 タイミング

ペアまたはチームにおいて「一定の間隔で次々とカイトがターンしているか」を削除

### IV. B. 1 コンパルソリー

すべての規定図形には2つのクリティカル・コンポーネンツが設定されています。そしてそれは採点に関して大きなウェイトを占めます。国際競技会ではそれぞれのクリティカル・コンポーネンツはその図形の採点の30%にもなります。クリティカル・コンポーネンツを重要視する事により、フライヤーもジャッジもその規定図形が求める要素が何であるかに注目し、正しく図形を描くこととなります。

ただ、クリティカルコンポーネントはあくまで規定図形の要素の一部であり、仮にそれがまったく実行されなくても、その規定図形が0点になるものではない。

注記:ここで言う「国際競技会」とは他国の競技者が参加する場合のことを言う。例:スペインとイタリア

#### . A.2 偶発的な接触(ティックス)とクラッシュ

ティックスやクラッシュはペナルティーとならない。

ジャッジは演技の一部として総合的に採点する。

以前のように、ペナルティーとして回数をジャッジパネルで統一し強制減点したりはしない

注・クラッシュやティックスは定義そのものがなくなっています。たとえばバレーではクラッシュ後

45秒以内にリラUNCH出来なければ0点でしたが、45秒以上リラUNCHできなくても強制的に0点になったり演技を中止させられたりする事はありません。

#### . B.4 偶発的な接触(ティックス)とクラッシュ

ティックスやクラッシュはペナルティーとならない。

ジャッジは演技の一部として総合的に採点する。

以前のように、ペナルティーとして回数をジャッジパネルで統一し強制減点したりはしない

注・クラッシュやティックスは定義そのものがなくなっています。たとえば規定図形の途中で墜落しても強制的に0点になったり演技を中止させられたりする事はありません。競技者はリラUNCHして残りの図形を描く事ができます。ただし規定図形は IN コールから45秒以内に OUT コールが必要というルールがありますので、リラUNCHに時間がかかり、これをオーバーすると強制的に終了となり、その図形は0点になります。

#### 添付A スコアシートのサンプル

シートを一新。下部のペナルティー欄に境界線を逸脱したかのチェックが加わった。

#### 添付B フィールドディレクター用参照リスト

(ジャッジブックより)

II . D . 2 . d) 削除

VI . A . 2 . b) . (2) 削除

III . B . 2 / 3 「境界線を逸脱」の追加

(ルールブックより)

IV . K 削除

#### ジャッジ用フィールド参照用カード

表一新

違反	コンパルソリー図形	テクニカル内容	テクニカルの実行力	テクニカルルーテーション	プレゼンションの完了	バレエの実行力	バレエの振り付け	バレエの完了	参照ページ	参照項目
セットアップタイムの違反	ゼロ								21	VI.B.3
		-10					-10		20	VI.A.1.a)
最小時間以下				ゼロ				ゼロ	20	VI.A.1.b)(1)
最大時間以上		-10					-10		20	VI.A.1.b)(2)
不適切な演技の「開始」「終了」		-10					-10		20	VI.A.1.c)
間違った図形でのフライト	ゼロ								21	VI.B.1
インアウトコールの欠落	ゼロ			ゼロ					21	VI.B.2
音楽の頭出し等準備ミス								-10	21	VI.C
フィールド内で助言を受けた						-10		-10	13	II.D.2.b)
スポーツマンらしからぬ振舞い						失格		失格	13	II.D.2.a)
境界線を越えたフライト						失格		失格	RB 8	III.B.2/3

## 添付C 抗議書

罫線が削除されたが、内容は変更なし

## 添付D チーフジャッジ大会レポート

罫線が削除されたが、内容は変更なし